

発電設備等系統アクセス業務に係る情報の取りまとめ
(2022 年 7 月～9 月の受付・回答分)

2022 年 12 月



電力広域的運営推進機関
Organization for Cross-regional Coordination of
Transmission Operators, JAPAN

－ はじめに －

電力広域的運営推進機関（以下、広域機関という。）は、業務規程第100条の規定に基づき、系統アクセス業務に関する実績について公表している。

今回、2022年度第2四半期（2022年7月～2022年9月）の系統アクセス業務に関する実績（受付及び回答状況）を取りまとめたので、公表する。

- 目次 -

1. 対象電源	3
2. 集計結果	4
2.1 事前相談	4
2.1.1 受付件数	4
2.2 接続検討	5
2.2.1 受付件数	5
2.2.2 電源種別毎の受付件数	6
2.2.3 回答件数	7
2.2.4 検討期間	8
2.2.5 回答予定日超過案件（検討継続中(未回答)）の状況	10
2.3 契約申込み	11
2.3.1 受付件数	11
2.3.2 電源種別毎の受付件数	12
2.3.3 回答件数	13
2.3.4 検討期間	14
2.3.5 回答予定日超過案件（検討継続中(未回答)）の状況	16
<参考 1>年度推移	17
（１）事前相談	17
（２）接続検討	18
（３）契約申込み	19
<参考 2>電源接続案件一括検討プロセス実施状況	20

1. 対象電源

2015 年 4 月 1 日以降に広域機関及び一般送配電事業者において、系統アクセス業務に係る受付または回答を行った最大受電電力 500 キロワット以上の発電設備等の案件を対象とする。なお、発電容量の増加を伴わない改修等も含む。

また、本資料において、各事業者名称は下記の略称で記載する。

事業者名称	本資料における略称
北海道電力ネットワーク株式会社	北海道NW
東北電力ネットワーク株式会社	東北NW
東京電力パワーグリッド株式会社	東京P G
中部電力パワーグリッド株式会社	中部P G
北陸電力送配電株式会社	北陸送配
関西電力送配電株式会社	関西送配
中国電力ネットワーク株式会社	中国NW
四国電力送配電株式会社	四国送配
九州電力送配電株式会社	九州送配
沖縄電力株式会社	沖縄電力

2. 集計結果

2.1. 事前相談

2.1.1. 受付件数

2022年度第2四半期（2022年7月～2022年9月）に受付を行った事前相談の件数は以下のとおり。事前相談の受付件数は、前年度同時期と比較して増加しており、特に東京PGが増加。

表1 事前相談の受付件数（広域機関および一般送配電事業者別）（件）

受付会社	前年度同時期（2021. 7～9 月）			今回（2022. 7～9 月）			増減
	特別高圧	高圧	合計	特別高圧	高圧	合計	
広域機関※1	17	0	17	36	0	36	19
北海道NW	82	334	416	222	266	488	72
東北NW	120	246	366	197	332	529	163
東京PG	134	407	541	342	690	1,032	491
中部PG	52	352	404	92	611	703	299
北陸送配	9	35	44	21	102	123	79
関西送配	54	360	414	119	621	740	326
中国NW	74	324	398	81	431	512	114
四国送配	11	112	123	26	194	220	97
九州送配	93	207	300	192	451	643	343
沖縄電力	1	6	7	0	5	5	▲ 2
合計	647	2,383	3,030	1,328	3,703	5,031	2,001

※1 広域機関は発電設備等の出力の合計値が1万キロワット以上である申込みを受け付ける。

※2 同一事業者が同一発電場所において異なった容量の申込みを複数行っている場合もそれぞれ計上している。

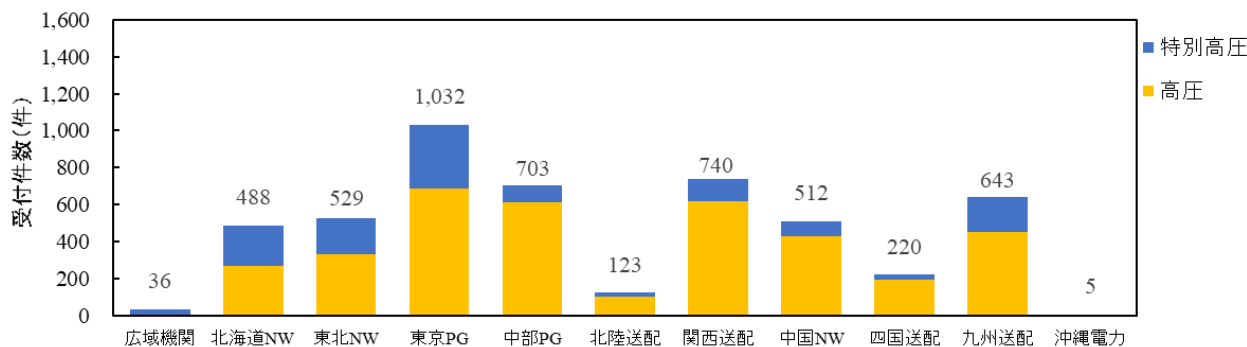


図1 事前相談の受付件数（広域機関および一般送配電事業者別）

[2022年度7月～9月]

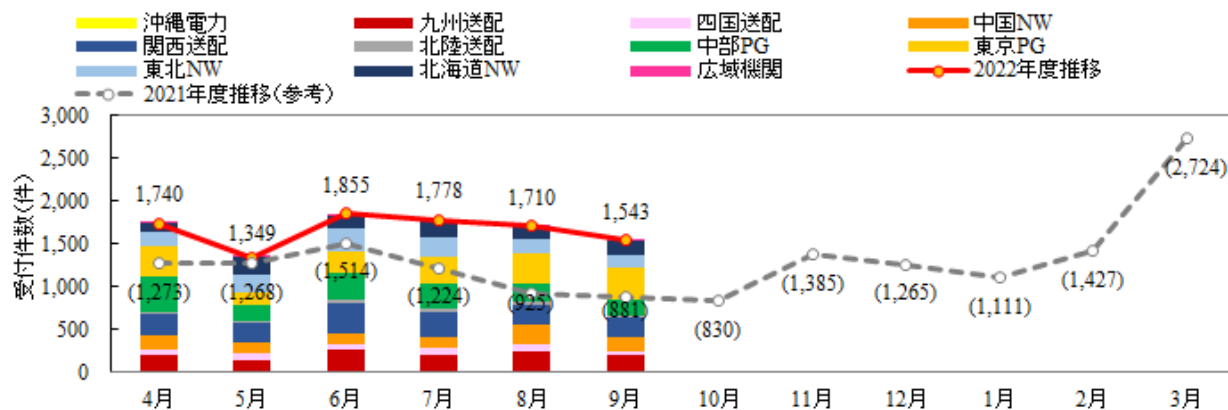


図2 事前相談 受付件数（広域機関＋一般送配電事業者合計）

[2022年度]

2.2. 接続検討

2.2.1. 受付件数

2022年度第2四半期（2022年7月～2022年9月）に受付を行った接続検討の件数は以下のとおり。接続検討の受付件数は、前年度同時期と同数程度。中部エリアが増加した一方で、東地域（北海道NW、東北NW、東京PG）で減少。

表2 接続検討の受付件数(広域機関および一般送配電事業者別)

(件)

受付会社	前年度同時期（2021.7～9月）			今回（2022.7～9月）			増減
	特別高圧	高圧	合計	特別高圧	高圧	合計	
広域機関※1	22	1	23	21	0	21	▲ 2
北海道NW	48	74	122	24	56	80	▲ 42
東北NW	71	45	116	54	36	90	▲ 26
東京PG	34	368	402	43	310	353	▲ 49
中部PG	10	95	105	23	163	186	81
北陸送配	8	2	10	7	7	14	4
関西送配	15	56	71	18	40	58	▲ 13
中国NW	18	43	61	17	60	77	16
四国送配	2	18	20	12	5	17	▲ 3
九州送配	28	24	52	17	48	65	13
沖縄電力	0	3	3	0	0	0	▲ 3
合計	256	729	985	236	725	961	▲ 24

※1 広域機関は発電設備等の出力の合計値が1万キロワット以上である申込みを受け付ける。

※2 同一事業者が同一発電場所において異なった容量の申込みを複数行っている場合もそれぞれ計上している。

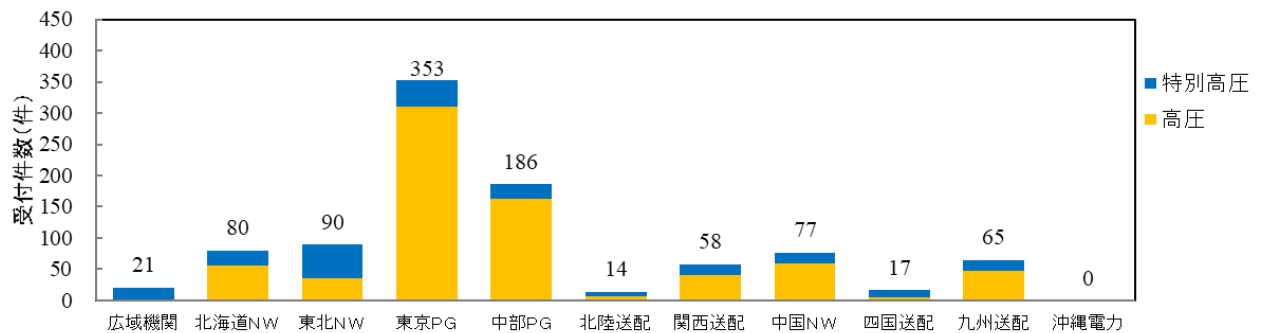


図3 接続検討 受付件数(広域機関および一般送配電事業者別)

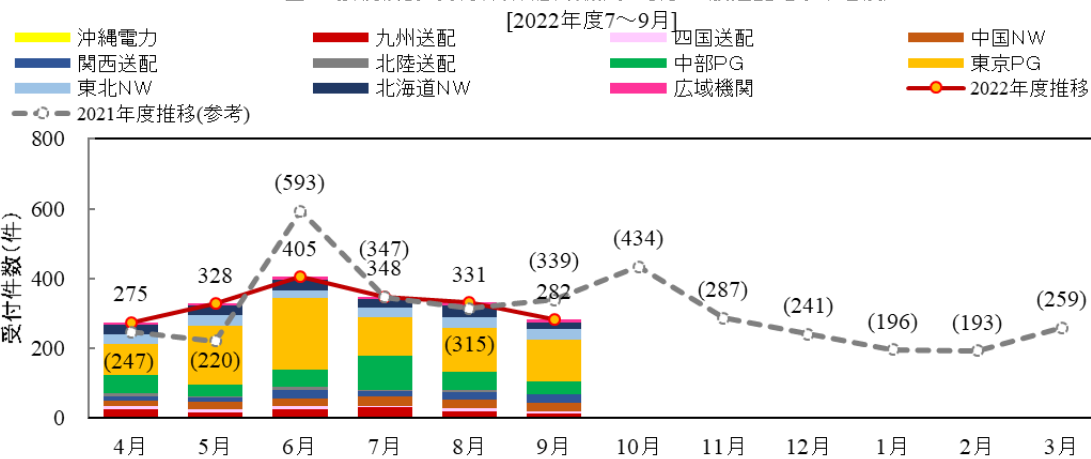


図4 接続検討 受付件数(広域機関+一般送配電事業者合計)

[2022年度7～9月]

2.2.2. 電源種別毎の受付件数

2022 年度第 2 四半期（2022 年 7 月～2022 年 9 月）に受付を行った接続検討の電源種別ごとの件数は以下のとおり。広域機関にて受け付けた案件については、系統連系を希望する各エリアに計上している。また、接続検討 1 件に対し複数の電源種別が混在する場合、電源種別件数としては、複数の電源種別でカウントしているため、受付件数の合計値とは一致しない場合がある。

電源種別毎の受付件数は太陽光が多い。また、東北エリアは他のエリアに比べて風力の件数が高い。

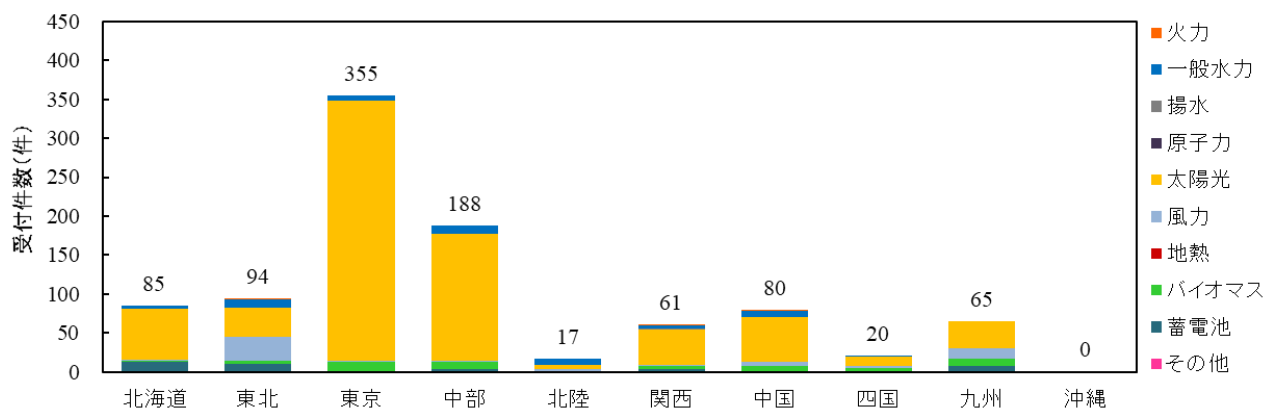


図5 接続検討 電源種別毎の受付件数(エリア別)
[2022年度7～9月]

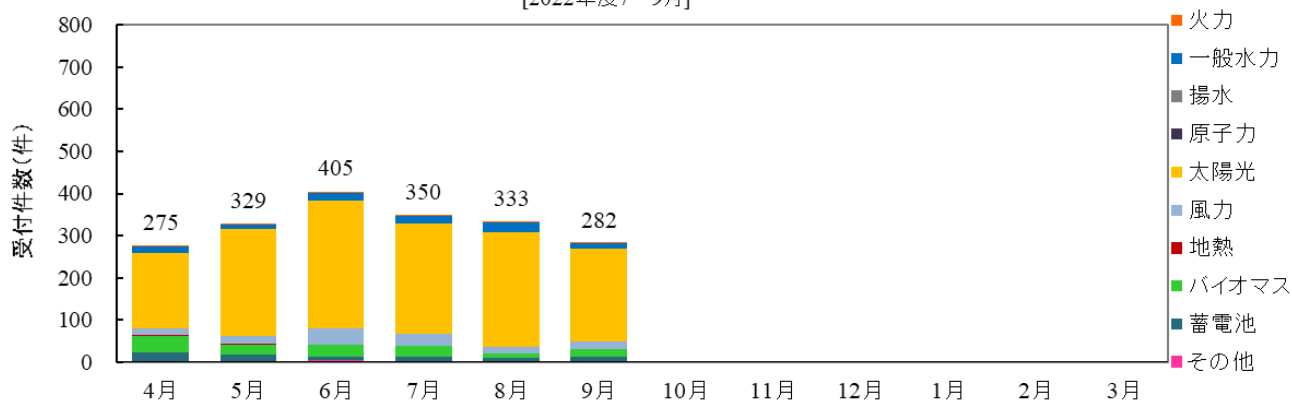


図6 接続検討 電源種別毎の受付件数(全エリア合計)
[2022年度7～9月]

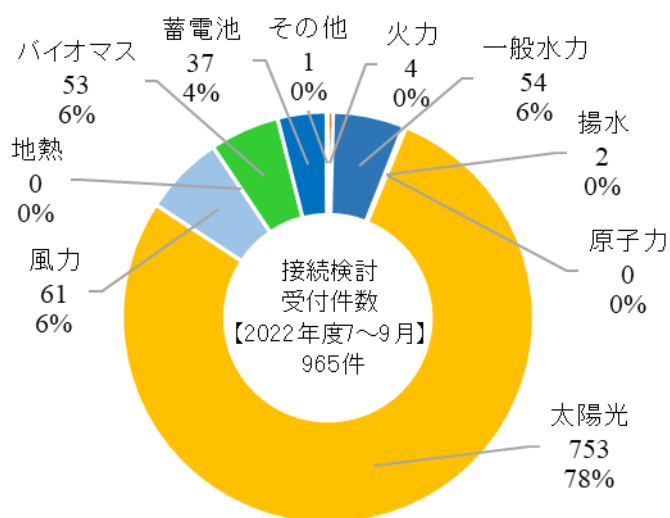


図7 接続検討の電源種別毎の受付件数割合(全エリア合計)
[2022年度7～9月]

[円グラフ種別]
上段: 電源種別
中段: 件数
下段: 割合(%)

2.2.3. 回答件数

2022 年度第 2 四半期（2022 年 7 月～2022 年 9 月）に回答を行った接続検討の回答件数は以下のとおり。接続検討の回答件数は、前年度と比較して増加。特に、東京 PG が増加。

表 3 接続検討の回答件数(広域機関および一般送配電事業者別)

(件)

受付会社	前年度同時期（2021. 7～9 月）						今回（2022. 7～9 月）						増減
	特別高圧		高圧		合計		特別高圧		高圧		合計		
広域機関※1	17	(5)	0	(-)	17	(5)	25	(8)	0	(-)	25	(8)	8
北海道NW	15	(10)	60	(53)	75	(63)	24	(19)	49	(25)	73	(44)	▲ 2
東北NW	29	(10)	29	(12)	58	(22)	39	(15)	34	(-)	73	(15)	15
東京PG	46	(28)	191	(133)	237	(161)	22	(16)	420	(394)	442	(410)	205
中部PG	30	(-)	88	(1)	118	(1)	29	(3)	105	(42)	134	(45)	16
北陸送配	5	(-)	5	(-)	10	(-)	9	(2)	7	(-)	16	(2)	6
関西送配	20	(-)	48	(-)	68	(-)	21	(1)	26	(-)	47	(1)	▲ 21
中国NW	32	(3)	28	(11)	60	(14)	35	(15)	26	(12)	61	(27)	1
四国送配	8	(2)	6	(-)	14	(2)	7	(1)	16	(3)	23	(4)	9
九州送配	25	(10)	29	(8)	54	(18)	26	(12)	34	(7)	60	(19)	6
沖縄電力	0	(-)	0	(-)	0	(-)	1	(-)	0	(-)	1	(-)	1
合計	227	(68)	484	(218)	711	(286)	238	(92)	717	(483)	955	(575)	244

※1 広域機関は発電設備等の出力の合計値が 1 万キロワット以上である申込みを受け付ける。

※2 同一事業者が同一発電場所において異なった容量の申込みを複数行っている場合もそれぞれ計上している。

※3 ()内はノンファーム型接続を適用した回答を再掲。

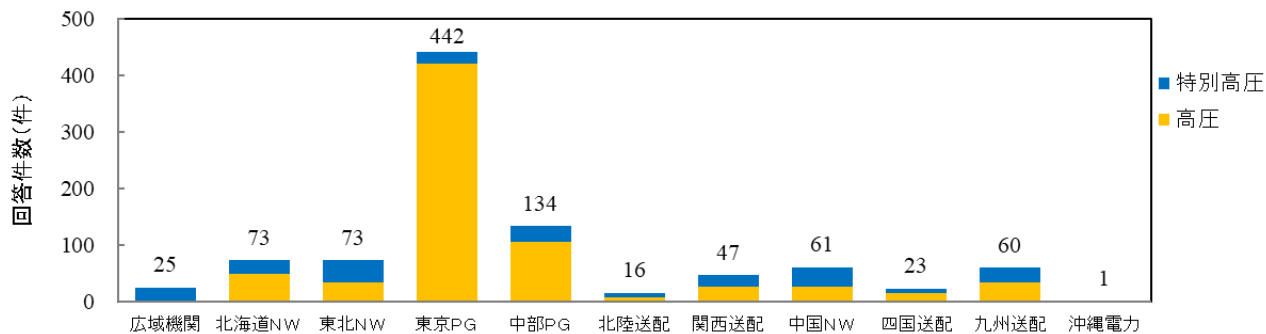


図8 接続検討 回答件数(広域機関および一般送配電事業者別)

[2022年度7～9月]

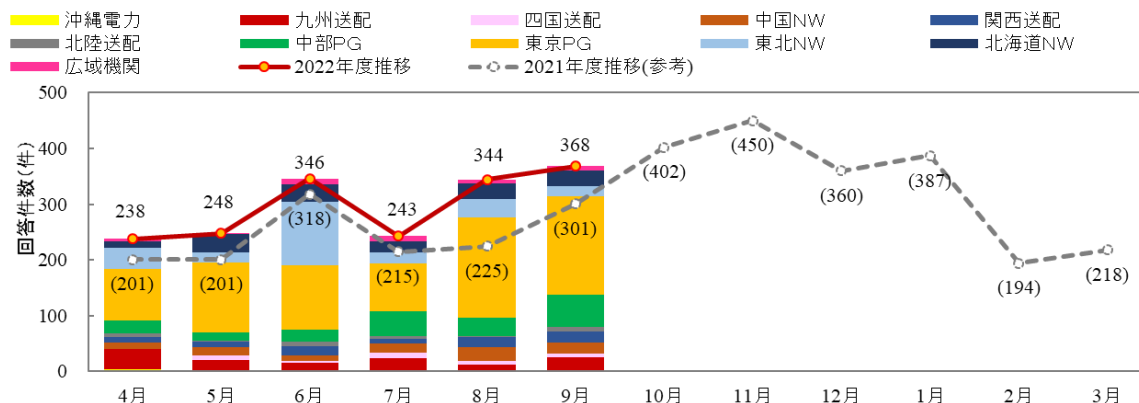


図9 接続検討 回答件数(広域機関+一般送配電事業者)

[2022年度7～9月]

2.2.4. 検討期間

2022 年度第 2 四半期（2022 年 7 月～2022 年 9 月）に回答を行った接続検討の検討期間は以下のとおり。なお、検討期間は、送配電等業務指針第 86 条の規定を踏まえ、3 か月を標準期間として確認。

接続検討の検討期間（3 か月）を超過している件数は、全体の 9%。超過理由の主な内容は、受付者都合（申込集中・特殊検討・検討量大）が多い。

表 4 接続検討の検討期間(広域機関および一般送配電事業者別)

(件)

受付会社	回答 件数	3 か月 以内	3 か月 超過	超過理由								
				A	B	C	D	E	F	G	H	I
広域機関※1	25	21	4	0	0	0	1	3	0	0	0	0
北海道NW	73	60	13	0	1	1	9	0	1	0	0	1
東北NW	73	72	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
東京PG	442	387	55	1	0	41	13	0	0	0	0	0
中部PG	134	133	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
北陸送配	16	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
関西送配	47	46	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
中国NW	61	59	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0
四国送配	23	23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
九州送配	60	50	10	0	0	1	7	1	1	0	0	0
沖縄電力	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	955	868	87	2	3	43	31	4	2	0	0	2

※1 広域機関は発電設備等の出力の合計値が 1 万キロワット以上である申込みを受け付ける。

(接続検討の回答期間)

第 86 条 一般送配電事業者は、次の各号の区分に応じ、接続検討の回答を、原則として、次の各号に掲げる期間内に行うものとする。

- 一 系統連系希望者が高圧の送電系統への発電設備等（但し、逆変換装置を使用し、容量が 500 キロワット未満のものに限る。）の連系等を希望する場合 接続検討の申込みの受付日から 2 か月
- 二 前号に該当しない場合 接続検討の申込みの受付日から 3 か月

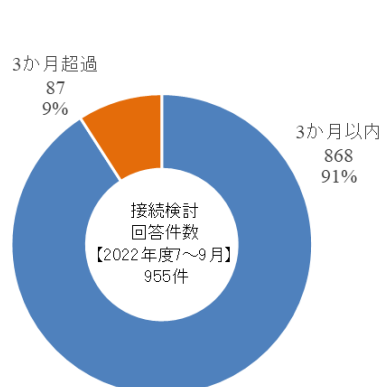


図10 接続検討の回答件数および検討期間実績
(広域機関+一般送配電事業者合計)
[2022年度7～9月]

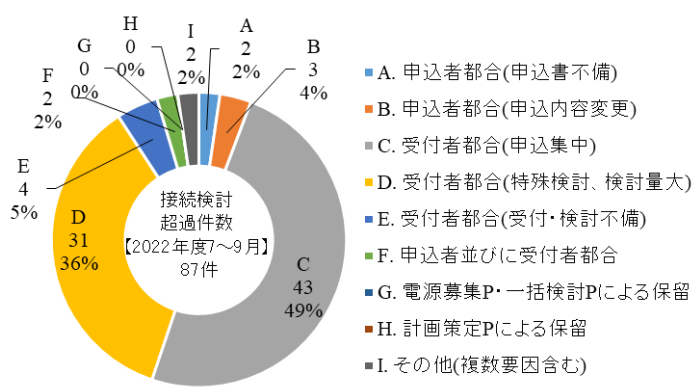


図11 接続検討の回答予定日超過理由
(広域機関+一般送配電事業者合計)
[2022年度7～9月]

【円グラフ種別】
上段:超過理由
中段:件数
下段:割合(%)

回答期間超過理由の分類については、以下のとおり。

A.申込者都合（申込書不備）

申込者の書類不備・不足など申込者に起因する場合

B.申込者都合（申込内容変更）

申込者による申込後の内容変更など申込者に起因する場合

C.受付者都合（申込集中）

同一地点や同一時期に申込が集中したなどの理由により、当該一般送配電事業者の検討が輻輳し、検討に時間を要した場合

D.受付者都合（特殊検討、検討量大）

特殊検討^{※1}が必要となるなどの理由により、当該一般送配電事業者の検討量が多く、検討に時間を要した場合

E.受付者都合（受付・検討不備）

一般送配電事業者の受付や検討に不備があった場合

F.申込者並びに受付者都合

上記の申込者都合と受付者都合の両方に起因する場合

G.電源接続案件募集プロセス・電源接続案件一括検討プロセス

電源接続案件募集プロセス^{※2}および電源接続案件一括検討プロセス^{※2}の募集締切後、系統状況が確定するまで回答保留している場合

H.計画策定Pによる保留

計画策定プロセス^{※3}の開始に伴い系統状況が確定するまで回答保留している場合

I.その他（複数要因含む）

上記以外の理由によるもの

※1 特殊検討例は、以下の通り

- ・合理的な設備形成の検討に時間を要しているため
（事業者提案にあたり複数案の工事が考えられる場合などにその決定までに時間を要す）
- ・上位系統増強工事が発生することで検討量が増加したため
- ・近隣で既に複数の先行事業者が連系しており、最適な配電線ルート選定に時間を要したため
- ・当該案件とは別の設備増強工事等が絡み、工事内容について多様な検討（精査）が必要となったため
- ・検討途中での大規模電源の連系申込みに伴い、対策内容の再検討が必要となったため

※2 近隣の電源接続の可能性を募り、複数の電気供給事業者により工事費負担金を共同負担して系統増強を行う手続きのこと

※3 広域系統整備計画の策定において必要となる手続きのこと

2.2.5. 回答予定日超過案件（検討継続中(未回答)）の状況

2022 年度第 2 四半期末（2022 年 9 月末）時点において回答予定日を超過し、かつ検討継続中（未回答）である件数は以下のとおり。

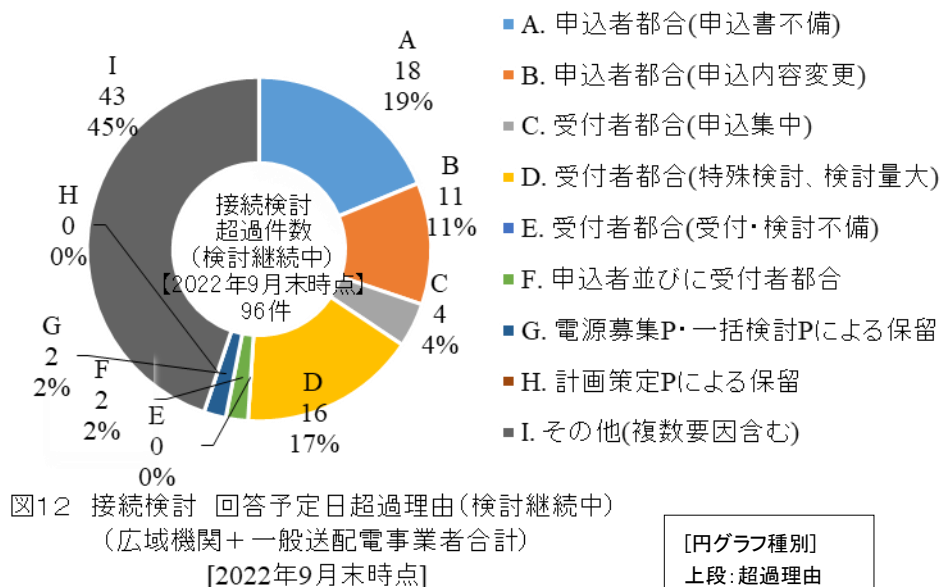
表 5 接続検討の回答予定日超過件数（検討継続中(未回答)）

(広域機関および一般送配電事業者の合計)

(件)

受付会社	2022 年 6 月末	2022 年 9 月末	増減
広域機関	0	0	0
北海道NW	55	44	▲ 11
東北NW	5	3	▲ 2
東京PG	34	26	▲ 8
中部PG	2	4	2
北陸送配	6	6	0
関西送配	1	1	0
中国NW	1	1	0
四国送配	0	0	0
九州送配	8	11	3
沖縄電力	0	0	0
合計	112	96	▲ 16

※1 電源接続案件募集プロセスの募集要綱に基づく接続検討の申込みについては集計外としている。



[円グラフ種別]
上段: 超過理由
中段: 件数
下段: 割合(%)

2.3. 契約申込み

2.3.1. 受付件数

2022 年度第 2 四半期（2022 年 7 月～2022 年 9 月）に受付を行った契約申込みの件数は以下のとおり。契約申込みの受付件数は、前年度同時期と比較して、東北および東京エリアにて大きく増加し、全体として増加。

表 6 契約申込みの受付件数(一般送配電事業者合計)

(件)

受付会社	前年度同時期（2021. 7～9 月）			今回（2022. 7～9 月）			増減
	特別高圧	高圧	合計	特別高圧	高圧	合計	
北海道NW	9	24	33	5	18	23	▲ 10
東北NW	19	5	24	31	32	63	39
東京PG	4	58	62	5	98	103	41
中部PG	3	36	39	4	24	28	▲ 11
北陸送配	5	2	7	4	3	7	0
関西送配	8	10	18	9	8	17	▲ 1
中国NW	11	13	24	8	8	16	▲ 8
四国送配	0	0	0	3	4	7	7
九州送配	9	8	17	7	6	13	▲ 4
沖縄電力	0	0	0	1	1	2	2
合計	68	156	224	77	202	279	55

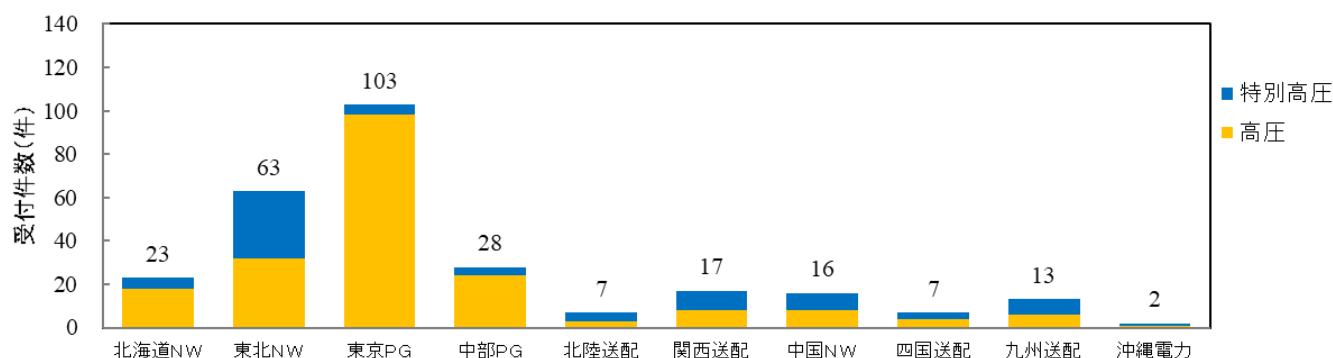


図13 契約申込み 受付件数(一般送配電事業者別)
[2022年度7～9月]

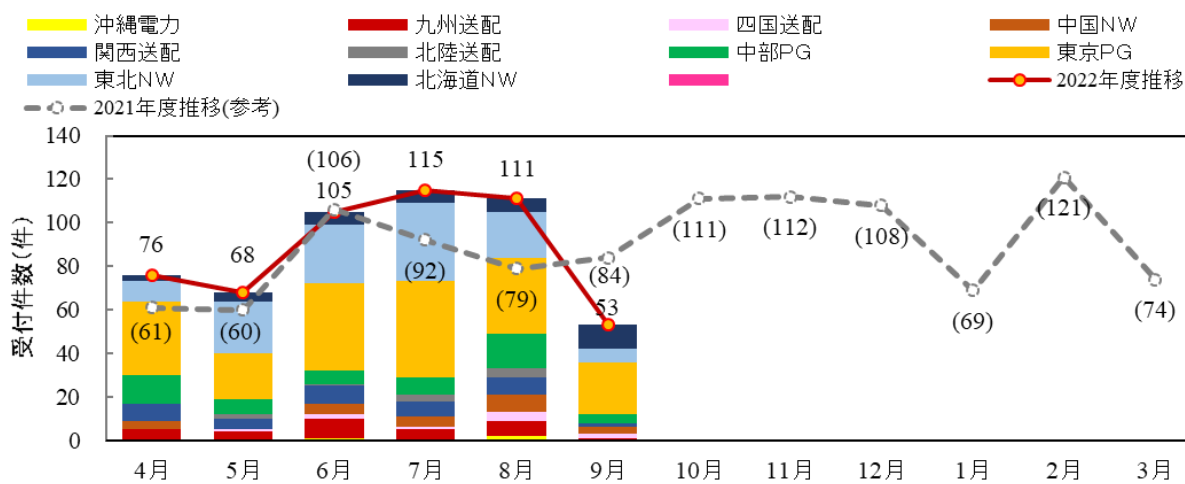


図14 契約申込み 受付件数(一般送配電事業者合計)
[2022年度7～9月]

2.3.2. 電源種別毎の受付件数

2022 年度第 2 四半期（2022 年 7 月～2022 年 9 月）に受付を行った契約申込みの電源種別の件数は以下のとおり。契約申込み 1 件に対し複数の電源種別が混在する場合、電源種別件数としては、複数の電源種別でカウントしているため、受付件数の合計値とは一致しない場合がある。

電源種別毎の受付件数の比率は、太陽光が約 7 割を占めている。

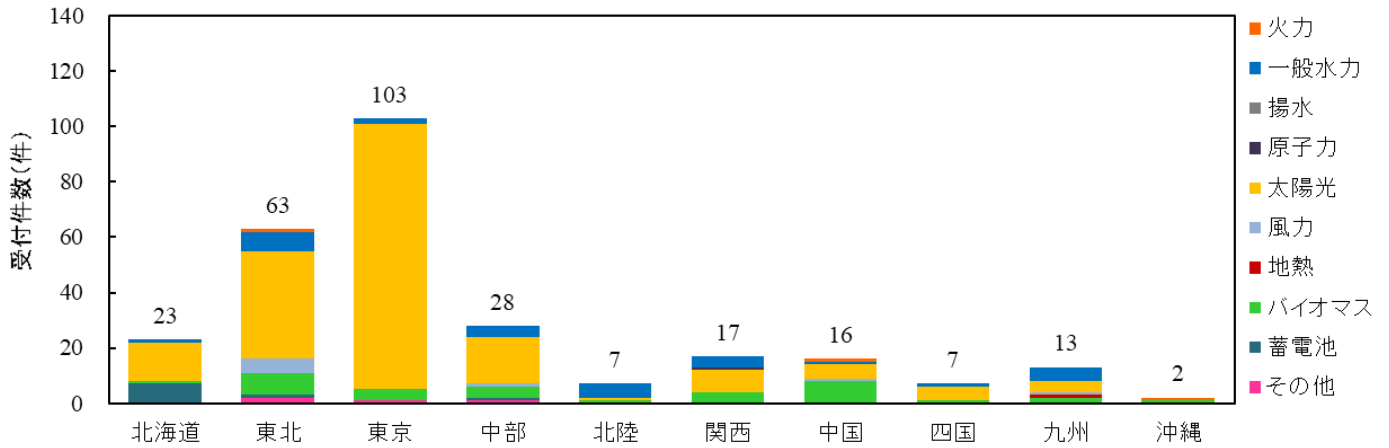


図15 契約申込み 電源種別毎の受付件数(エリア別)
[2022年度7～9月]

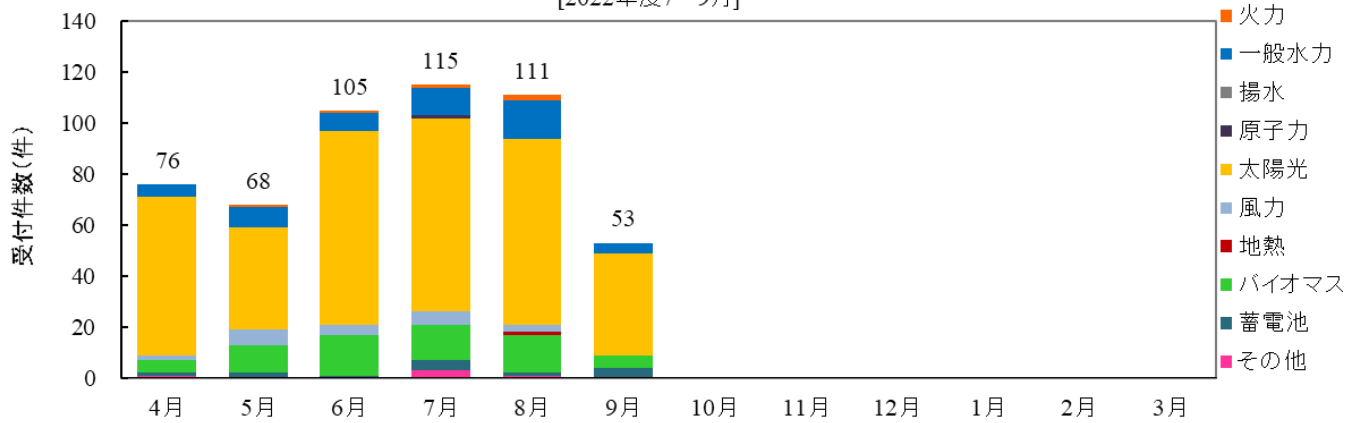


図16 契約申込み 電源種別毎の受付件数(全エリア合計)
[2022年度7～9月]

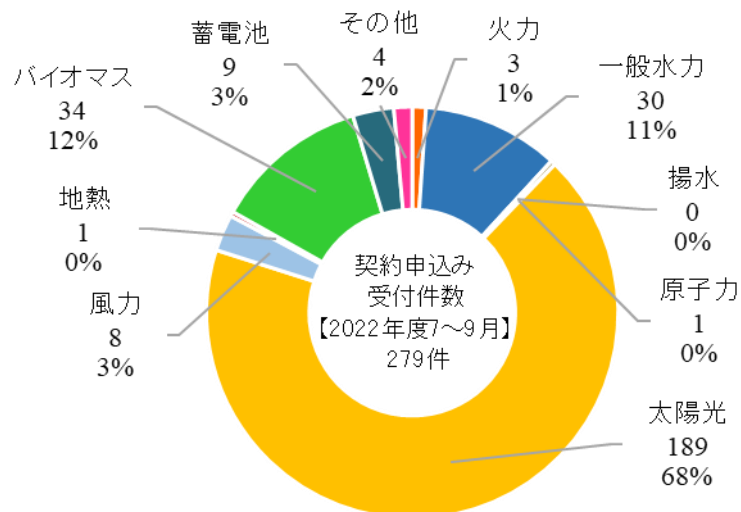


図17 契約申込みの電源種別毎の受付件数割合(全エリア合計)
[2022年度7～9月]

[円グラフ種別]
上段:電源種別
中段:件数
下段:割合(%)

2.3.3. 回答件数

2022年度第2四半期（2022年7月～2022年9月）に回答を行った契約申込みの件数および検討期間は以下のとおり。契約申込みの回答件数は、前年度同時期と比較して増加。特に東京PGが増加。

表7 契約申込みの回答件数(一般送配電事業者合計)

(件)

受付会社	前年度同時期（2021.7～9月）						今回（2022.7～9月）						増減
	特別高圧		高圧		合計		特別高圧		高圧		合計		
北海道NW	1	(-)	5	(-)	6	(-)	1	(-)	15	(11)	16	(11)	10
東北NW	28	(-)	3	(-)	31	(-)	19	(-)	9	(-)	28	(-)	▲ 3
東京P G	2	(-)	44	(32)	46	(32)	8	(3)	85	(61)	93	(64)	47
中部P G	4	(-)	6	(-)	10	(-)	2	(-)	21	(-)	23	(-)	13
北陸送配	0	(-)	0	(-)	0	(-)	1	(-)	4	(-)	5	(-)	5
関西送配	12	(-)	13	(-)	25	(-)	7	(-)	12	(-)	19	(-)	▲ 6
中国NW	5	(1)	8	(1)	13	(2)	3	(1)	8	(2)	11	(3)	▲ 2
四国送配	1	(-)	4	(-)	5	(-)	6	(1)	2	(-)	8	(1)	3
九州送配	6	(2)	12	(-)	18	(2)	3	(-)	15	(1)	18	(1)	0
沖縄電力	0	(-)	0	(-)	0	(-)	0	(-)	0	(-)	0	(-)	0
合計	59	(3)	95	(33)	154	(36)	50	(5)	171	(75)	221	(80)	67

※1 ()内はノンファーム型接続を適用した回答を再掲

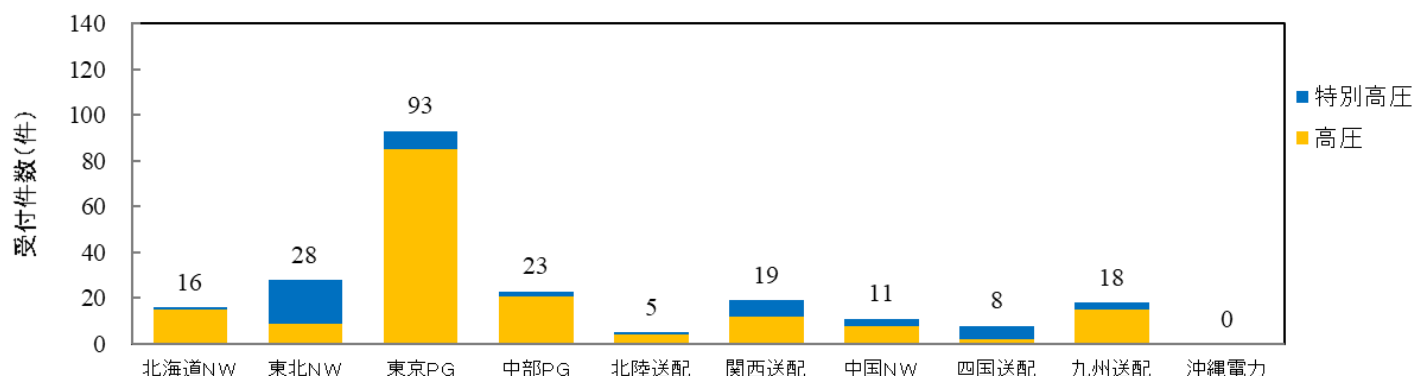


図18 契約申込み 回答件数(一般送配電事業者別)

[2022年度7～9月]

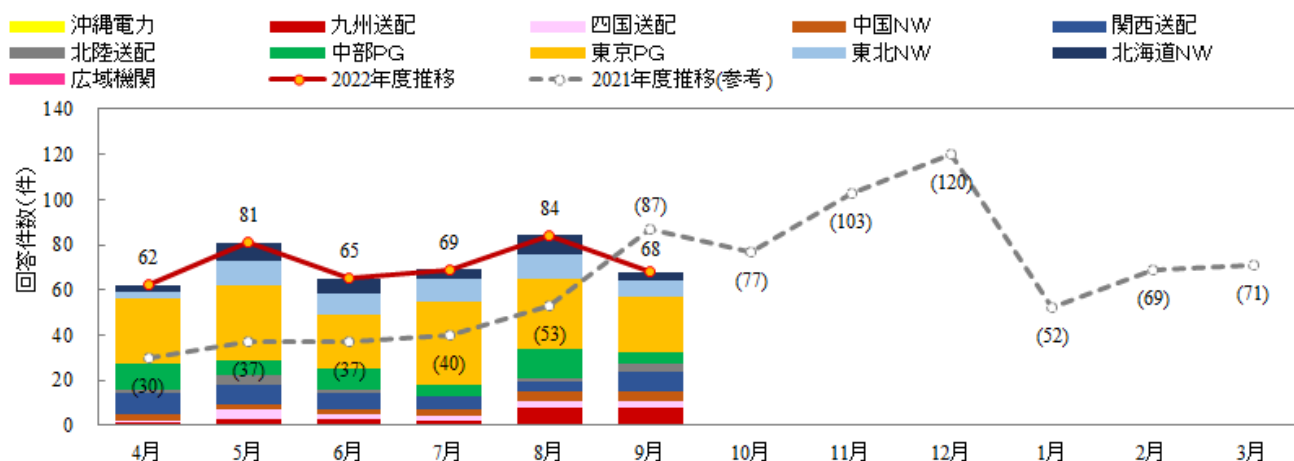


図19 契約申込み 回答件数(一般送配電事業者)

[2022年度7～9月]

2.3.4. 検討期間

2022年度第2四半期(2022年7月～2022年9月)に回答を行った契約申込みの検討期間は以下のとおり。なお、検討期間については、送配電等業務指針第98条に基づき、6か月を標準検討期間として確認した。

契約申込みの検討期間(6か月)を超過している件数は、全体の11%。超過理由の主な内容は、受付者都合(特殊検討、検討量大)が多い。

表8 契約申込みの検討期間(一般送配電事業者別)

(件)

受付会社	回答 件数	6か月 以内	6か月 超過	超過理由								
				A	B	C	D	E	F	G	H	I
北海道NW	16	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東北NW	28	27	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
東京PG	93	75	18	4	4	0	10	0	0	0	0	0
中部PG	23	23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北陸送配	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
関西送配	19	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中国NW	11	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
四国送配	8	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
九州送配	18	13	5	2	0	0	2	0	0	0	0	1
沖縄電力	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	221	197	24	6	5	0	12	0	0	0	0	1

(発電設備等契約申込みの回答期間)

第98条 一般送配電事業者は、次の各号の区分に応じ、発電設備等契約申込みの回答を、原則として、次の各号に掲げる期間内に行うものとする。

- 一 発電設備等系統連系希望者が低圧の送電系統への連系等を希望する場合 発電設備等契約申込みの受付日から1か月
- 二 前号に該当しない場合 発電設備等契約申込みの受付日から6か月又は発電設備等系統連系希望者と合意した期間

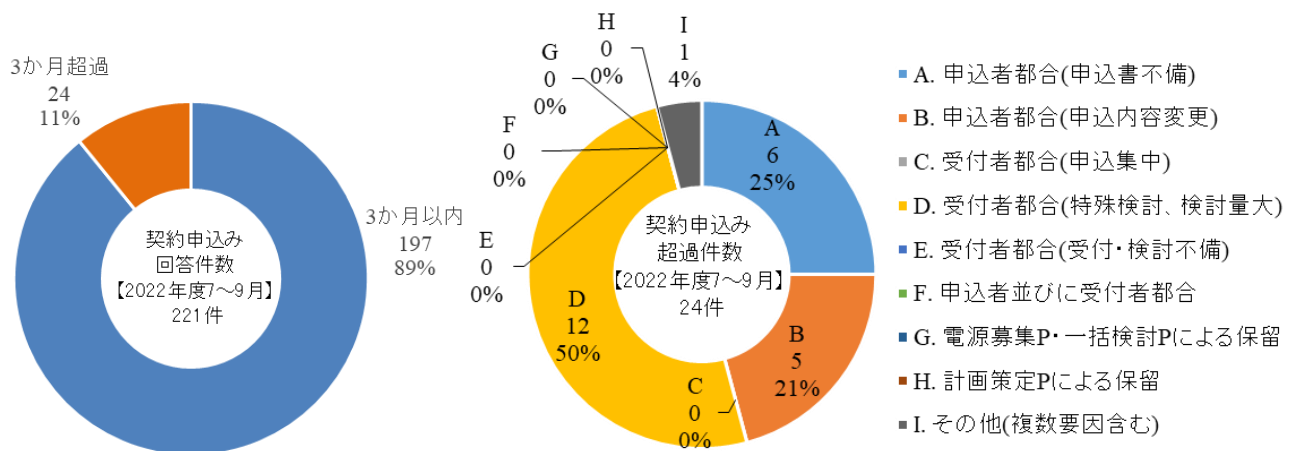


図20 契約申込みの回答件数および検討期間実績
(一般送配電事業者合計)
[2022年度7～9月]

図21 契約申込みの回答予定日超過理由
(一般送配電事業者合計)
[2022年度7～9月]

[円グラフ種別]
上段:超過理由
中段:件数
下段:割合(%)

回答期間超過理由の分類については、以下のとおり。

A.申込者都合（申込書不備）

申込者の書類不備・不足など申込者に起因する場合

B.申込者都合（申込内容変更）

申込者による申込後の内容変更など申込者に起因する場合

C.受付者都合（申込集中）

同一地点や同一時期に申込が集中したなどの理由により、当該一般送配電事業者の検討が輻輳し、検討に時間を要した場合

D.受付者都合（特殊検討，検討量大）

特殊検討^{※1}が必要となるなどの理由により、当該一般送配電事業者の検討量が多く、検討に時間を要した場合

E.受付者都合（受付・検討不備）

一般送配電事業者の受付や検討に不備があった場合

F.申込者並びに受付者都合

上記の申込者都合と受付者都合の両方に起因する場合

G.電源接続案件募集プロセス・電源接続案件一括検討プロセス

電源接続案件募集プロセス^{※2}および電源接続案件一括検討プロセス^{※2}の募集締切後、系統状況が確定するまで回答保留している場合

H.計画策定Pによる保留

計画策定プロセス^{※3}の開始に伴い系統状況が確定するまで回答保留している場合

I.その他（複数要因含む）

上記以外の理由によるもの

※1 特殊検討例は、以下の通り

- ・合理的な設備形成の検討に時間を要しているため
（事業者提案にあたり複数案の工事が考えられる場合などにその決定までに時間を要す）
- ・上位系統増強工事が発生することで検討量が増加したため
- ・近隣で既に複数の先行事業者が連系しており、最適な配電線ルート選定に時間を要したため
- ・当該案件とは別の設備増強工事等が絡み、工事内容について多様な検討（精査）が必要となったため
- ・検討途中での大規模電源の連系申込みに伴い、対策内容の再検討が必要となったため

※2 近隣の電源接続の可能性を募り、複数の電気供給事業者により工事費負担金を共同負担して系統増強を行う手続きのこと

※3 広域系統整備計画の策定において必要となる手続きのこと

2.3.5. 回答予定日超過案件（検討継続中(未回答)）の状況

2022 年度第 2 四半期末（2022 年 9 月末）時点において回答予定日を超過し、かつ検討継続中（未回答）である件数は以下のとおり。なお、申込者による契約申込みの継続意思がない案件については、集計の対象から除外した。

表 9 契約申込みの回答予定日超過件数（検討継続中(未回答)）

（一般送配電事業者の合計）

（件）

受付会社	2022 年 6 月末	2022 年 9 月末	増減
北海道NW	10	14	4
東北NW	4	1	▲ 3
東京PG	63	52	▲ 11
中部PG	0	0	0
北陸送配	4	3	▲ 1
関西送配	10	9	▲ 1
中国NW	0	0	0
四国送配	0	0	0
九州送配	48	45	▲ 3
沖縄電力	0	0	0
合計	139	124	▲ 15

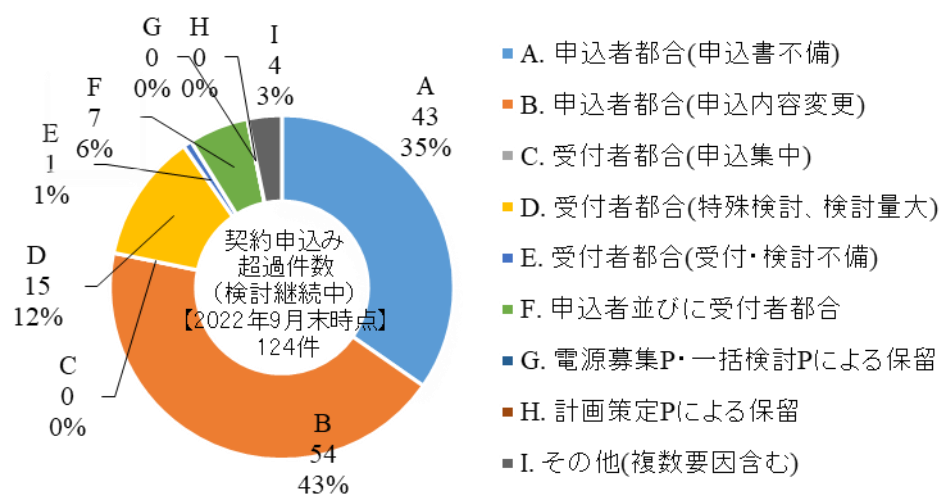


図22 契約申込み 回答予定日超過理由（検討継続中）
（一般送配電事業者合計）
【2022年9月末時点】

【円グラフ種別】
上段:超過理由
中段:件数
下段:割合(%)

<参考 1> 年度推移

広域機関発足（2015 年 4 月）以降における広域機関並びに一般送配電事業者において実施した系統アクセス業務に関する実績（「事前相談」、「接続検討」、「契約申込み」の受付状況）の推移は以下のとおり。

事前相談は 2017 年度をピークに減少し、2021 年度から増加に転じている。接続検討および契約申込みは 2018 年度ピークに 2019 年度に一旦減少し、2020 年度から増加傾向に変化。

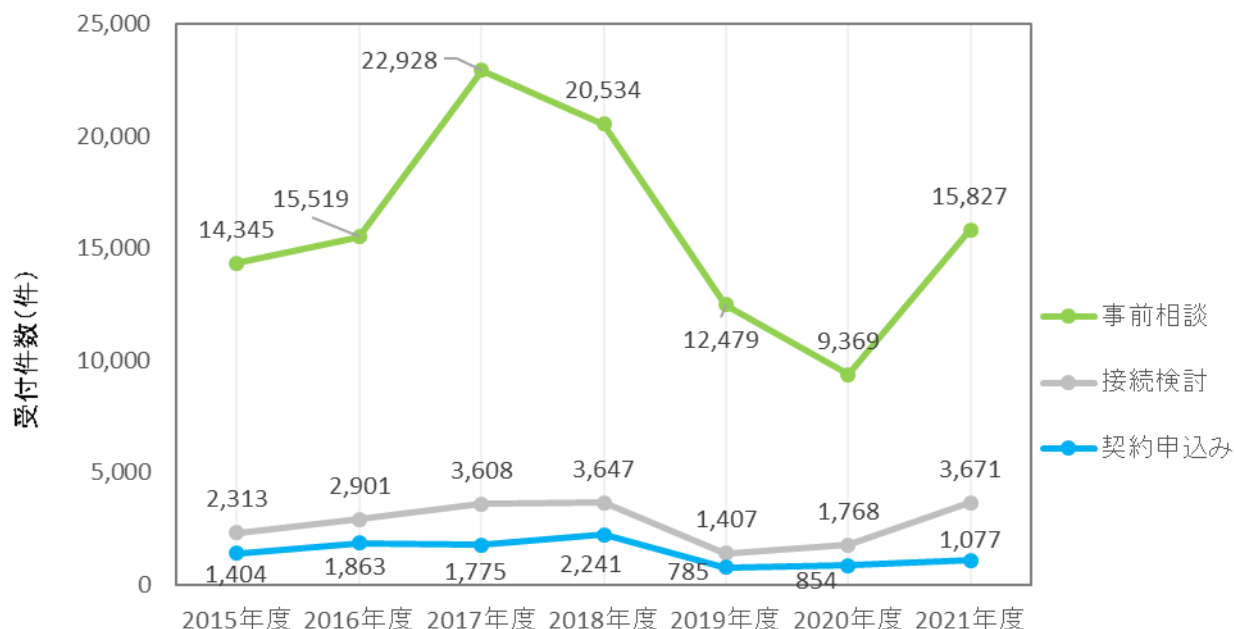


図23 年度別 事前相談・接続検討・契約申込みの受付件数の推移

（１）事前相談

表 10 事前相談の各社別受付件数の推移

(件)

	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度 4～9 月
広域機関	100	333	111	76	41	27	68	62
北海道NW	396	637	1,592	646	237	567	1,733	944
東北NW	2,300	1,705	2,529	2,853	1,502	1,181	1,910	1,164
東京PG	4,629	3,882	5,396	2,659	1,187	1,064	3,410	1,783
中部PG	2,059	3,472	4,136	4,110	1,840	1,819	2,045	1,628
北陸送配	332	425	478	622	262	214	339	200
関西送配	1,930	2,076	3,528	4,318	2,128	1,442	2,200	1,568
中国NW	1,123	1,256	2,744	2,405	1,520	895	1,500	927
四国送配	425	390	546	804	257	326	624	432
九州送配	1,038	1,256	1,796	2,003	3,484	1,790	1,969	1,257
沖縄電力	13	87	72	38	21	44	29	10
合計	14,345	15,519	22,928	20,534	12,479	9,369	15,827	9,975

(2) 接続検討

表 11 接続検討の各社別受付件数の推移 (件)

	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度 4～9 月
広域機関	70	83	53	58	83	76	76	43
北海道NW	43	106	323	229	65	89	385	165
東北NW	369	415	443	615	363	424	679	173
東京PG	638	811	1,085	853	287	443	1,382	814
中部PG	290	453	485	585	163	230	391	320
北陸送配	56	102	118	115	79	55	54	36
関西送配	262	312	354	328	91	137	233	109
中国NW	191	243	315	431	91	106	206	136
四国送配	92	134	139	110	42	29	75	40
九州送配	300	238	291	315	138	173	185	131
沖縄電力	2	4	2	8	5	6	5	2
合計	2,313	2,901	3,608	3,647	1,407	1,768	3,671	1,969

表 12 接続検討の電源種別毎の受付件数の推移 (件)

	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度 4～9 月
火力	118	66	41	25	59	60	32	13
一般水力	107	106	132	145	182	241	245	97
揚水	0	0	0	0	0	0	0	2
原子力	0	0	0	0	0	0	0	0
太陽光	1,731	2,005	2,602	2,806	481	766	2,498	1,490
風力	165	368	340	303	410	326	436	130
地熱	16	17	17	14	38	55	54	8
バイオマス	175	335	469	341	221	305	327	143
蓄電池	-	-	-	-	-	-	-	83
その他	6	7	11	13	21	18	83	8
合計	2,318	2,904	3,612	3,647	1,412	1,771	3,675	1,974

※接続検討 1 件に対し複数の電源種別が混在する場合、電源種別件数としては、複数の電源種別でカウントしているため、受付件数の合計値とは一致しない場合がある。

(3) 契約申込み

表 13 契約申込みの各社別受付件数の推移

(件)

	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度 4～9 月
北海道NW	26	37	187	46	25	25	85	36
東北NW	217	215	211	329	232	332	115	123
東京PG	161	538	277	618	174	174	413	198
中部PG	209	357	267	400	94	96	141	54
北陸送配	38	83	86	50	26	33	27	10
関西送配	190	233	256	251	57	70	112	38
中国NW	64	147	196	242	45	37	67	25
四国送配	51	71	79	69	20	15	42	10
九州送配	447	177	210	232	110	69	73	31
沖縄電力	1	5	6	4	2	3	2	3
合計	1,404	1,863	1,775	2,241	785	854	1,077	528

表 14 契約申込みの電源種別毎受付件数の推移

(件)

	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度 4～9 月
火力	31	30	26	16	19	16	30	5
一般水力	58	70	76	96	124	135	155	50
揚水	0	0	2	0	0	0	0	0
原子力	0	0	0	1	1	0	2	1
太陽光	1,212	1,462	1,252	1,900	375	440	685	367
風力	44	168	229	78	113	148	55	20
地熱	7	8	5	3	11	15	15	1
バイオマス	56	123	187	143	138	95	125	66
蓄電池	-	-	-	-	-	-	-	13
その他	0	2	3	5	7	6	14	5
合計	1,408	1,863	1,780	2,242	788	855	1,081	528

※契約申込み1件に対し複数の電源種別が混在する場合、電源種別件数としては、複数の電源種別でカウントしているため、受付件数の合計値とは一致しない場合がある。

＜参考 2＞ 電源接続案件一括検討プロセス実施状況

2022 年度第 2 四半期末（2022 年 9 月末）時点における電源接続案件一括検討プロセス（主宰者：一般送配電事業者）の実施状況※は以下のとおり。総数 23 件のうち、2022 年 9 月末時点で 7 件が完了。

※2022 年 9 月末時点の実施状況を記載しているため、本資料公表日の実施状況とは異なる場合がある。

表 15 電源接続案件一括検討プロセスの実施状況一覧

会社	件数	対象エリア	開始決定日	応募申込 受付開始日	プロセス 完了(予定)日
北海道	1 件	弟子屈	2022/4/28	2022/7/26	2023/12 頃
東北	8 件	福島	2021/3/24	2021/4/26	2023/2 下旬頃
		山形・本荘由利	2021/3/26	2021/4/28	2023/1 中旬頃
		青森県下北	2021/5/19	2021/6/16	2023/4 中旬頃
		岩手県北部	2021/8/12	2021/10/7	2023/7 中旬頃
		宮城県北西	2021/8/13	2021/10/8	2023/7 月上旬頃
		新潟県村上	2021/12/14	2022/1/18	2023/7 下旬頃
		宮城県北東および東部大崎	2021/12/15	2022/1/21	2023/8 中旬頃
		青森県三戸	2021/12/16	2022/1/26	2023/8 月上旬頃
東京	1 件	群馬東部	2021/7/13	2021/8/13	2023/7 下旬頃
中部	3 件	長野県北部小谷村	2021/9/3	2021/10/1	2023/4 下旬頃
		愛知県三河北部・長野県南信南部	2022/7/8	2022/8/8	2024/2 下旬頃
		三重県中勢・伊賀	2022/8/30	2022/9/30	2024/4 下旬頃
北陸	3 件	石川県白山市南部	2020/10/30	2020/11/30	2021/12/1 完了
		石川県能登	2020/11/25	2020/12/25	2022/7/4 完了
		石川県志賀町周辺	2022/9/2	2022/10/3	2024/3 月上旬頃
中国	1 件	広島県神石高原町、岡山県高梁市・吉備中央町および周辺	2021/2/5	2021/2/16	2021/10/21 完了

九州	6 件	大分県西大分	2021/11/11	2021/1/29	2022/1/21 完了
		鹿児島県霧島	2021/1/29	2021/2/26	2021/12/22 完了
		鹿児島県大口	2021/4/5	2021/5/10	2022/1/26 完了
		大分県日田	2021/7/29	2021/8/26	2023/8 上旬頃
		熊本県菊池	2021/8/4	2021/9/1	2022/3/24 完了
		大分県山香・柳ヶ浦	2022/4/28	2022/5/27	2023/12 中旬頃